

2019年1月15日(火) ハコラク2月号 掲載

医療の現場から『大腸CT検査について』

診療放射線技術科 川村 優貴 診療放射線技師

医療の
現場から



大腸CT検査について

函館中央病院

診療放射線技術科
診療放射線技師

川村 優貴 さん

大腸がんとは、日本人のがんの死亡数第2位の病気です。腹痛、血便（便に血が混ざること）や下血（肛門から血が出ること）など症状がありますが、これらは日常生活の中で気づきにくく、症状に気づいた時にはがんが進行していることが多いため、早期に発見することが大事な病気です。

大腸がんを早期に発見するために定期的な検診を受けることが推奨されており、この検診で大腸がんが疑われた場合、精密検査を受ける必要があります。一般的に精密検査としては内視鏡を用いた検査が挙げられますが、精密検査の受診率は低く、原因として検査に対して痛く苦しい

ものだと思っっている方が多いためと考えられています。

そこで、内視鏡検査とは違った方法で大腸内を非常に楽に観察でき、ご高齢の方でも無理なく行うことができる大腸CT検査をご紹介します。

大腸CT検査は、肛門に直径約7mm（えんぴつ程度）のチューブを少し入れ、そこから炭酸ガスをいれて大腸を膨らませ、撮影するだけです。検査時間がとても短く、大腸にいった炭酸ガスはすぐ体内に吸収されるので苦痛が少なくなります。内視鏡検査では検査前の食事は主におかゆですが、大腸CT検査では検査用の親子丼・カレー・中華粥を食べることができ、更に大腸をきれいにするために飲む下剤の量がとても少ないのも特徴の一つです。

大腸CT検査は即時に大腸をみる内視鏡検査と違い、撮影した画像から大腸を観察しているため、色や硬さがわからないなどの欠点がありますが、CT検査であるため大腸の周囲情報まで知ることが可能です。何より内視鏡検査よりも楽に検査を受けることができ、国内外を問わず精密検査として有効な検査の一つとされています。この検査を知ってもらうことで大腸の精密検査を受けるきっかけとなれればと思います。



函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyu.com/>

■診療科目／内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、
心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全24科目
■受付時間／8:30~11:30、13:30~16:00※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。
■休診日／日曜・祝日・年末年始